

■ TOPIC #01

女性研究者支援の取り組みを行っています!

2016年12月に女性研究者の研究環境のサポートを目的として「リサーチライフサポート室」を開設しました。今回は目標や取り組み内容、今後の展開などについてご紹介します。

リサーチライフサポート室を開設した目的

立命館大学に在籍する多くの女子学生・院生の活躍を励ますことを第一の目的としています。それを実現するためには、身近なロールモデルとして女性教員がいきいきと輝いていることが大切だと考えています。リサーチライフサポート室では、女性教員の比率をさらに高めていくため、採用計画などの数値目標だけでなく、教育・研究とさまざまなライフイベントを両立しやすい環境整備を推進しています。

具体的な取り組みをはじめます

出産・育児・介護等のライフイベントと研究活動を両立できるよう「研究支援員制度」を2017年4月に新設しました。さらに、女性研究者の研究リーダーとしての能力を開花させ、上位職への積極的な登用に繋げるための「研究マネジメント塾」開設に向けた準備を現在進めています。

また、女性研究者の支援だけでなく、アンケートをとって要望を調査したり、セミナーを実施したりするなど、大学全体で課題や実態を共有していきたいと考えています。

ダイバーシティ研究環境づくりにむけて

多様な人材のなかで一番身近で、数の多いのが女性です。女性研究者の割合を増やし、努力が正当に評価される制度や仕組みを整え、女性教職員が働

リサーチライフサポート室
室長 田中 弘美



きやすく意欲を持って活躍できる職場環境をつくり出すことが、全体的なダイ

バーシティ環境の整備につながると考えています。
“多様な視点が活かされる組織づくり”が求められている今、それを実現できる企業および大学が、社会からも認められ、支持され、成長することができます。

女性に限らず、様々な背景、文化、出身、年齢、性別、人種などから多様な人材が分け隔てなく採用され、自由闊達に自分の考えを打ち出し、議論できる場が与えられ、実力に応じ平等な機会が得られる大学、職場環境づくりにむけ、今後も様々な活動を行っていきます。

※本事業における女性は、戸籍上の性別のみを指すものではありません。

■ TOPIC #02

第1回「立命研究者の会」を開催しました(6月23日)

6月23日(金)、第1回交流イベント「立命研究者の会」をBKCコアステーション3階「校友サロン」にて開催しました。このイベントは「先輩教員との交流」、「教員同士のコミュニケーション」を図るべく、学部や学科、キャンパスを超え様々なコミュニケーションや情報交換を行うための「場」として企画したものです。当日は、教職員、院生、学部生を含めた合計30名ほどが参加されました。

第1部では、リサーチライフサポート室田中弘美

室長の挨拶のあと、軽食を取りながらの和やかな交流会となりました。自己紹介の場では、参加者が男女共同参画について日頃感じていることを紹介し、それぞれの経験や思いを共有する機会となりました。

第2部では、鈴木桂子先生(衣笠総合研究機構特別招聘研究教員[教授])より「私のリサーチライフ」と題してご講演を頂きました。ご自身の経歴や経験をご紹介頂いた後、後進の研究者へ向けて、先生のご専門である人類学の観点から「人によって真実は様々。自分の真実と選択肢を追求するとともに、他者の真実も理解しようとし、寛容な社会を目指しましょう」というメッセージを頂きました。

第3部の茶話会は、木村朝子先生(情報理工学部教授)のもと、体験の紹介や活発な意見交換が行われました。世代を超えた意見交換により、この日のイベントは盛況のうちに幕を閉じました。



／ OIC、衣笠キャンパスでも順次開催! ／

第2回「立命研究者の会」開催予告!

- 日時/2017年9月15日(金)
12:20-14:30 入出自由
- 会場/大阪いばらきキャンパス
B棟5階「クロノトボス」
- プログラム/
[第1部] 開会挨拶 平岡 和久先生
[第2部] 講演「私のリサーチライフ」
松原 洋子先生
[第3部] 茶話会
「研究者として必要な研究環境とは、
理想とする研究スタイルとは」
矢藤 優子先生

参加費
無料

事前申込
不要

院生・学生等も
参加可能

詳しくは、リサーチライフサポート室HPをご覧ください。
<http://www.ritsumei.ac.jp/research/rsupport/>

研究支援員制度 第2期募集開始

▶ 申請資格を拡充しました

出産・育児・介護等のライフイベントと研究活動の両立を支援するため「ライフイベントに関わる研究支援員制度」の第2期募集を2017年7月31日から開始しました。この制度は、ライフイベント中も研究を継続できるよう「研究支援員」の雇用経費を1期(6ヶ月)につき上限30万円まで助成するものです。第1期の助成は6月1日から開始されており、現在9名の方にご利用いただいています。

第2期からは申請資格を拡充しました。募集要項は、研究部HPに掲載されていますのでご確認ください。

募集内容は以下の通りです。

申請資格

〈出産・育児〉

- ① 妊娠している教員・研究者
- ② 小学校3年生以下の子を養育する教員・研究者のうち、配偶者が常態的にフルタイムで

労働している、または一人親である教員・研究者

〈介護〉

- ① 要介護状態(負傷、疾病または身体上もしくは精神上の障害により、2週間以上の期間にわたり常時介護を必要とする状態)にある家族を介護する教員・研究者

※この制度は、女性活躍推進法の趣旨に則り、女性の積極的な応募を歓迎します。

申請期間と助成期間

〈申請期間〉

2017年7月31日(月)～9月8日(金)

〈助成期間〉

2017年10月1日(日)～2018年3月31日(土)

助成内容

- ・ 申請者1人あたりの1期の助成額の上限は30万円とする。(交通費含む)
- ・ 研究支援員は、上限額範囲内であれば複数名

雇用ができる。

- ・ 研究支援員の1期の雇用期間は最長6か月とする。
- ・ 助成額の範囲内で、申請者が雇用対象者の職種(以下、研究支援員の資格ご参照)・時間単価・勤務時間を選定し申請する。

研究支援員の資格

当該研究課題の支援業務を遂行するために必要な専門知識又は技術を有する者。

研究支援員の業務内容

- ① 研究者の実験・調査の補助
- ② データの入力・分析
- ③ 文献の収集・整理
- ④ 学会発表の資料作成
- ⑤ その他研究についての補助

助成の決定にあたって

助成は、審査を行ったうえで決定します。

ワークライフバランス実現のために 各学部 研究科の 教授会実施時間

リサーチライフサポート室は
ワークライフバランスの実現を応援しています。

会議時間の設定はその要素の1つです。
ワークライフバランスの実現のためには、
たとえば、会議は17:30終了のような取組と
資料削減や事前配布等の
様々な工夫が求められます。
いかがでしょうか。

人文社会科学系

	時間
法学部・研究科	14:45-
経済学部・研究科	14:45-
経営学部・研究科	14:40-
産業社会学部・社会学研究科	14:30-16:30
文学部・研究科	14:00-16:00
国際関係学部・研究科	13:30-
政策科学部・研究科	14:00-
映像学部・研究科	14:40-
総合心理学部	15:00-
経営管理研究科	14:00-
法務研究科	14:00-
公務研究科	12:30-

自然科学系

	時間
応用人間科学研究科	13:00-
先端総合学術研究科	13:00-
言語教育情報研究科	13:00-14:30
教職研究科	12:30-
理工学部・研究科	16:30-17:30
情報理工学部・研究科	16:30-
生命科学部・研究科	17:00-
薬学部・研究科	17:00-
スポーツ健康科学部・研究科	15:30-17:00 (17:00)
テクノロジー・マネジメント研究科	15:00-

*議題により終了時間は変更



立命館大学 リサーチライフサポート室

お問い合わせ先

E-mail: rsupport@st.ritsumeai.ac.jp

- 衣笠キャンパス TEL: 075-465-8306 内線: 511-2375
- びわこ・くさつキャンパス TEL: 077-561-2631 内線: 515-6507
- 大阪いばらきキャンパス TEL: 072-665-2570 内線: 513-3521

www.ritsumeai.ac.jp/research/rsupport/

